

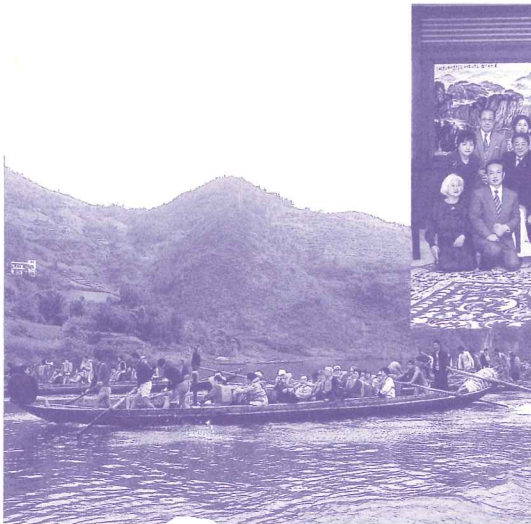
Mito City International Association

(財)水戸市国際交流協会機関紙

第21号

2005.3.

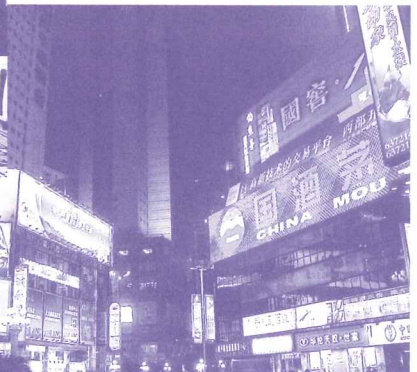
第3回友好交流都市重慶市親善訪問及び中国文化・行政視察団



神農溪めぐり



重慶市人民政府へ表敬訪問



重慶市の夜景

2004年11月13日から11月18日までの6日間、加藤浩一水戸市長を団長、渡辺政明市議会副議長を副団長とした総勢30名の親善訪問団が、水戸市の友好交流都市である重慶市をはじめ、杭州市、北京市を訪問してきました。

重慶市では、北碚区にある北温泉公園や日系企業横河電機を見学したり、西南師範大学の日本語学科の学生と交流を深めました。流暢な日本語で大学生活の様子や将来の夢を語る中国の大学生と

の懇談の時間は瞬く間に過ぎ、住所を交換したり、再会を願ったり、別れを惜しむ姿があちこちで見られました。その後、重慶市人民政府を表敬訪問し、加藤市長は、呉重慶市副市長と会談しました。その中で、今後の友好親善について両市の青少年交流を深めて行くことで合意、また、重慶市の著しい経済発展を語る呉副市長に、加藤市長が自然環境の大切さについて直言するなど真摯な雰囲気の中での公式会談でした。

第3回友好交流都市重慶市親善訪問団

～参加者の声～

四千年もの悠久の歴史を、脈々と育む中国。多彩な文人墨客、英雄、食文化と、古のロマンに胸をときめかせ、現実には反日感情問題もかかえながらの旅立ちでした。

3時間20分で目的地の杭州に到着。あいにくの雨模様で、傘を買い求めることから始まりました。プラタナスの街路樹で覆われた道路は車でひしめき、歩行者はいったん中央まで出て待ち横断するという、我々の感覚ではひやひやものでした。

雨の霊隠寺、西冷印社と暗くなるまでの25時間の初日でした。(時差1時間)

翌日中国随一の景勝地、西湖遊覧、60mの高さのある六和塔(13層8角)息を切らして昇り、銭塘江の景観を臨みました。

三日目重慶市親善訪問日、スーツに着替え北碚区の視察、日系企業の横河電機を視察、素晴らしい業績をあげ、地元貢献していると伺い、次に西南師範大学へ。中国ならではの広大な敷地に、学舎、学生寮、教師の住宅が点在、規模の大きさに驚きを覚えました。学生との交流は、女子の大学院生との出会いです。日本語がとても上手で、将来日本の大学で勉強したいが、日本はお金が高いので無理かもしれないと言う。どこを希望しているか訪ねると東京大学とのこと、そこで時間となり話が途切れてしまいましたが、彼女の向学心に燃えた目の輝きに、実現できることを、確信して別れました。

最後に重慶市人民政府への表敬訪問、呉副市長と加藤水戸市長の会見。人口3130万人(世界最大の市)ここ10年間でめざましい発展をする予定で、坂の街にふさわしいモノレール、高速



西南師範大学にて学生と談笑

道路の充実、三峡ダムを完成させ年平均850億キロワットの水力発電を創出、1万トン級の大形船航行可能等々のお話。加藤市長から、日本でもめざましい経済発展の後に自然破壊問題を抱えたので、これを視野に入れた上での発展をといった話があり、とても和やかな会見が出来たと思います。このような場所に同席できたのも、視察団員の一人であったからこそ、良い経験ができたことと感謝です。

長江三峡めぐりは、万県港で夜中の乗船から始まりました。早朝の白帝城見学、小船に乗り替え神農溪めぐり、兩岸にそびえたつ山々は圧巻でした。この三峡めぐりもダムが完成すると水嵩が増し、だいぶ景色が変化してしまうとのこと。



山峡下り

ダムも完成間近で私たちの乗船した船が、ダムの落差を運河の方式で5段階降りたようで、水のエレベーターとでもいうところでしょうか。

最終日は北京観光、天安門広場はただただ広いの一語。小宇宙の中心として君臨した世界最大の宮殿故宮、過ぎ去りし時代の栄華にふれ絵巻物の中に紛れ込んだかのようでした。

食事といえば、毎昼夜と円卓を囲みの中華三昧、良く飽きさせることなく、食べさせて下さったと感心、食材も多くバランスの良い食事でした。おかげで強行軍の6日間元気で過ごせたようです。

ホテルは3都市ともに繁華街で設備も充実しており、トイレも水洗で、これは想像の外でした。

傍ら、街を散策していると、いろいろな形で貧富の差を目のあたりにし、自分たちの国の幸せを再確認できた旅でもありました。

(塩井賢一・雅子)

【日 程 表】

日次	月日(曜日)	地名	日 程
1	11/13 (土)	成田発 杭州着	空路、杭州へ 午後：市内視察(霊隠寺、西冷印社)
2	11/14 (日)	杭 州 重 慶	市内見学(六和塔、西湖) 空路、重慶市へ
3	11/15 (月)	重 慶	北碚区北温泉公園視察 日系企業横河電機視察 道教寺見学 西南師範大学にて学生と交流 鶴嶺公園見学 重慶市人民政府への表敬訪問 万県着
		陸路、万県へ。三峡下りへ(船中泊)	

日次	月日(曜日)	地名	日 程
4	11/16 (火)	三 峡	長江流域を見学 白帝城、神農溪見学 三峡ダム(第一関門)見学
5	11/17 (水)	宜 昌	宜昌発 武漢着 武漢発 北京着
		武漢博物館見学 空路、北京へ 北京雑技団見学	
6	11/18 (木)	北 京 北京発 成田着 市役所	天安門広場、故宮博物館見学 空路、帰国の途へ 陸路、水戸へ 着後解散

事業の報告

水戸市国際交流協会では、市民の皆さんに国際交流や世界の文化について幅広く理解を深めてもらうため講座や市内在住外国人、留学生に対し水戸市や日本の文化の良さを理解してもらうための事業を行っています。今回は、新たに開催した講座とスキー教室の体験を紹介します。

●「クラシック音楽でめぐるヨーロッパの街」

水戸芸術館の協力を得て4回シリーズで、さまざまな時代に活躍した7人の旅する音楽家たちについての講座を開催しました。音楽家たちの目に映った当時のヨーロッパの都市の姿や、歴史的背景を交え、ヨーロッパの音楽文化にせまりました。

- 第1回 2月2日(水)【「国際派」ヘンデルと「国内派」バッハ】
～ローマ、ロンドン、ヴァイマル、ライプツィヒなど～
講師 矢澤 孝樹(水戸芸術館音楽部門主任学芸員)
- 第2回 2月9日(水)【ウィーンで生きた2人の巨匠—モーツァルトとベートーヴェン—】
～ザルツブルク、ボン、そしてウィーン～
講師 矢澤 孝樹(水戸芸術館音楽部門主任学芸員)
- 第3回 2月16日(水)【ボヘミアの運命—ショパン—】
～ワルシャワとパリ～
講師 関根 哲也(水戸芸術館音楽部門学芸員)
- 第4回 2月23日(水)【政治の波に翻弄されて—ストラヴィンスキーとシェーンベルク—】
～サンクト・ペテルブルク、パリ、ウィーン、ロサンゼルス～
講師 中村 晃(水戸芸術館音楽部門学芸員)

♪講師の声♪

クラシック音楽の名曲の数々は、決して最初から芸術の神殿に鎮座していたわけではありません。それは現代を生きる私たちと同じ、喜怒哀楽を備えた人間の営みから生まれ、それぞれの時代を生きた人々の毀誉褒貶にさらされました。今回、国際交流センターから講演シリーズのお話をいただいて私たちが思ったのは、音楽家たちが生きた「街」をキーワードに、さまざまな名曲が生まれた瞬間の新鮮な生命力を体験し、クラシック音楽をより身近に感じていただくことでした。うまくできたかどうか心もとありませんが、熱心に耳を傾けてくださる皆様のおかげで、無事3人のリレーを完走することができました。時空を超えた音楽の旅をご一緒に楽しんでいただけたなら、とても嬉しく思います。幸い国際交流センターからは続編をというお話をいただいておりますし、皆様のご意見を参考に、次回はいつそうヴァージョンアップしたシリーズをお届けしたいと思います。さて、今度はどんな「旅」に出かけましょうか…。

(水戸芸術館音楽部門主任学芸員 矢澤孝樹)

～参加者の声～

♪ 音楽の授業のようで少しびっくりしましたが、音楽家の生涯と時代背景などを知ってから聴くと、その曲から受けるイメージに納得できたり、新たな解釈をすることができました。

(40歳代・女性)

♪ 高血圧の懸念ありにつき、モーツァルトを聴こうと思った。肉声でレクチャーを聞きCDでクラシックを聴き、スクリーンで街なみを見てストレス解消！血圧が低下したと思われる。

(40歳代・男性)

♪ 解説を受けて聴く！普段なかなかできないことなので理解度も深まり有意義に過ぎて頂きました。しかし曲を聴くとなると、もう少し時間が欲しかった。

(50歳代・男性)



講師に耳を傾ける受講生

●「スキー教室(外国人対象)」

2月18日(金)福島県猪苗代スキー場において、雪に触れることの少ない外国人のために「スキー教室」を開催しました。慣れない雪の上でのスキーや日本の自然の良さなどを思いっきり楽しんできました。

～参加者の声～

今回のスキー教室に参加して、楽しかった気持ちをみなさんに伝えたいと思います。起床が早く辛かったけど帰る頃には、やっぱり早く起きた価値があったと思いました。優しく良い先生たちのあきらめない教え方で、最初、怖々だった人も段々楽しくなり、大きな声を出したり笑ったりと、和気あいの雰囲気でした。初めての人も最後には滑れるようになりました。私も段々滑り方を覚えて来て、先生とメンバーと一緒にリフトに乗って山の上の方から滑ってくる事ができました。口でうまく言えないけど、いい先生たちとメンバーにめぐりあって、久しぶりにこんなドキドキした楽しい一日を過ごす事ができました。ここで一番感謝したいのは、水戸市の国際交流センターの人々です。本当に外国人のために色々考え支援してくれることに心から感謝します。

白 玉 瑠 (中国・女性)

私は、イラン出身です。初めてのスキーでしたが先生たちが、とても優しく教えてくれました。また、よろしくお願ひします。

エビラフム マスクート カスマイン (イラン・男性)

私は、タイから日本に来て7年になります。タイでは皆さんが知っているように、雪は降りません。ですから雪遊びやスキー等は経験がなく、参加することに不安で、本当は行きたくなかったのです。でも経験してみないと、楽しいかどうか分からないので思いきって参加してみました。初めてのスキー…先生たちが、私たちに一生懸命スキーを教えてくれたので、みんな最初と比べられないほど上手になりました。でも私だけは…?でもスキーは、とっても楽しく行って良かったと思います。来年も絶対に参加して、もっと上手に滑れるようになりたいと思います。スキー教室は、私にとって一生の思い出となる良い経験でした。

永作 ヴィリンヤー(タイ・女性)



ただいま奮闘中

スキーって楽しい！先生ありがとう

来年度も当協会では様々な講座を用意し、皆様のご参加をお待ちしています。☆受講者募集は、そのつど「広報みと」等にてお知らせします。

●水戸市学生親善大使の派遣

高校、大学、専門学校などの学生を対象に、水戸市と国際親善姉妹都市の関係にあるアナハイム市（アメリカ）へ派遣する学生親善大使を募集します。政治、社会、歴史、英会話などの研修や施設見学、また市民宅にホームステイし、



ビーチパーティーの様子

日本文化の紹介など交流を深め、国際的視野に立つ人材を育成します。

募集 5月頃

期日 7月末から約2週間を予定しています。

※詳しくは、当協会までお問い合わせください。



ただいま研修中

INFORMATION

◇水戸市国際交流協会

インターネットホームページ

水戸市国際交流協会のホームページを開設しています。皆さんのアクセスをお待ちしています。

(アドレス<http://www.mitoic.or.jp/>)

◇インターネット利用サービス

国際交流センター2階にコンピュータを設置しています。インターネット、コンピュータのワープロ・ソフト、表計算ソフトなど、いずれも30分100円で利用できます。

◇どようサロン

毎週土曜日の午後(1時～3時)に国際交流センター2階で開催しています。お茶を飲みながら、世界各国の皆さんとおしゃべりしてみませんか。外国からの皆さんには、3分間無料で利用できる国際電話「ふるさとでんわコーナー」もあります。予約の必要はありません。当日、直接会場へおいでください。

◇『CITY MAP MITO』及び

『水戸の生活ガイドブック』

英文版水戸市『CITY MAP MITO』や外国人が水戸での生活に役立つ情報を掲載した『水戸の生活ガイドブック』(日英併記)を差し上げています。ご希望の方は当協会までご連絡ください。

この機関紙は非木材紙(ケナフ100%)を使用しております。地球環境に優しい「大豆油インキ」を使用しております。
(Printed by KOWA PRINTING Co.LTD.)



◇相談受付

国際交流に関する相談を受け付けています。相談者は外国人、日本人を問いません。秘密は厳守します。直接国際交流センター事務室へおいでください。また、電話やEメールでも受け付けています。

詳細については、当協会へお問い合わせください。

機関紙へのご意見をお待ちしています。
機関紙のコーナー、特集で取り上げて欲しい記事など、何でもお寄せください。

開館時間：午前9時から午後9時まで
休館日：月曜日、祝日

〒310-0024 水戸市備前町6-59
水戸市国際交流センター内
(財)水戸市国際交流協会

Tel:029-221-1800 Fax:029-221-5793

E-mail:mcia@mito.ne.jp

水戸市国際交流センター案内図

Area Map & Transportation Guide

